



CADENAS  
**PART**  
SOLUTIONS

## **ENGINEERING DESIGN EFFICIENCY REPORT**

INSIGHTS INTO COMMON CHALLENGES AND COSTLY  
GAPS ASSOCIATED WITH MANAGING DIGITAL PARTS

# ENGINEERING DESIGN EFFICIENCY REPORT

CADENAS PARTsolutionsは、500社以上のエンジニアからヒアリングをし、設計プロセスの現状に関する調査を実施しました。このデータは、標準品やサプライヤ部品に関するパーツデータ管理により、どのくらいエンジニアリングの効率化が得られるかを明らかにしているともいえます。

いままでにサプライヤ部品のモデリングをCADで行ったことはありますか？



- はい：93%
- いいえ：7%

**結論：**エンジニアは自社で設計しない部品のモデリングを行っていました。これは設計工数のロストで、会社組織にとっては価値のない行為といえます。これを一般的には「non-value-added (ムダ)」といいます。

一日のうち、標準品またはサプライヤ部品のモデリングにどのくらい時間を使いますか（平均）？



- 30分：62%
- 1時間：24%
- 2時間：11%
- 3時間：2%
- 4時間以上：2%

**結論：**エンジニアは、自社で設計する必要のない部品データのモデリング、または、手直しに多くの時間を消費しています。全体平均で1日のうち1時間弱はこのような無駄な行為を行っています。

一日のうち、標準品またはサプライヤ部品の検索にどのくらい時間を使いますか（平均）？



- 30分：57%
- 1時間：28%
- 2時間：12%
- 3時間：1%
- 4時間以上：1%

**結論：**このデータは検索に費やす時間を表しています。前述のモデリングの事例と同じく、全体平均で1日のうち1時間弱程度、Webサイトなどから部品の検索を行っています。

自社のCAD環境は、シングルCADですか？マルチCADですか？



- マルチCAD：69%
- シングルCAD：31%

**結論：**マーケットを強固なものとするためには、特定のCADフォーマットのデータを入手する必要があります。回答者の約70%が、互換性のないマルチCAD環境で仕事をしています。これが相互運用の大きな鍵で、断片的な環境や互いに使うことができないライブラリを作ってしまう原因ともいえます。

# ENGINEERING DESIGN EFFICIENCY REPORT

CADENAS PARTsolutionsは、500社以上のエンジニアからヒアリングをし、設計プロセスの現状に関する調査を実施しました。このデータは、標準品やサプライヤ部品に関するパーツデータ管理により、どのくらいエンジニアリングの効率化が得られるかを明らかにしているともいえます。

自社製作部品ライブラリには、重複部品や廃止部品が含まれていますか？



- はい：77%
- いいえ：23%

**結論：**多くのエンジニアにとって、自社部品ライブラリは乱雑です。そのため自社データベース内で再利用のためのデータを入手することができません。他から探すかスクラッチで再作製するしかありません。これは両者とも時間の浪費でしかなく問題です。本来の設計業務の精度を弱め、多くの下流工程に影響を与えます、これは他部門にとって問題です。

自社の部品データをどのようなツールで保管していますか？



- PLM/PDM/Vaultシステム：29%
- 共有フォルダ / サーバー：57%
- ローカルマシン：12%
- なし：1%

**結論：**回答者の多くは、自社に部品のための組織がほとんど、あるいは、まったく無いと答えています。これでは戦略的な再利用は不可能に近いといえます。エンジニアは部品検索に多くの時間を使うか、設計業務で使う標準・サプライヤ部品の再生成を行うしありません。

中央拠点1箇所で集中管理されたサプライヤ部品があれば、設計工数の削減になると思いませんか？



- 強く思う：47%
- 思う：32%
- どちらともいえない：19%
- 思わない：13%
- 強く思わない：0%

**結論：**もし1箇所の中央拠点で集中的に管理された部品があれば、79%は工数削減になると回答しています。ツールをつかってエンジニアに提供することにより、より素早く部品を検索・入手できるようになり、設計工数を削減することができ、業務の効率化を加速させます。

これらの結果は驚きに値しましたか？自社の組織内でも調査を実行してみてください。そして自社の結果と比べてみてください。戦略的部品データ管理システム「PARTsolutions」がどのようにあなたの会社の業務を効率化するか、詳細は次のメールアドレスまでお問い合わせください！：info@cadenas.co.jp